

2019年12月期第2四半期
決算説明会資料
2019/8/8



目次

I	2019年12月期第2四半期決算概要	P 3
II	2019年12月期業績予想	P16
III	COBEXの株式取得完了のお知らせ	P20

I

2019年12月期第2四半期

決算概要

事業環境

- 黒鉛電極 : 顧客の在庫積み増し及び欧州経済減速。ニードルコークスは引き続きタイトで売価アップ
- カーボンブラック : アジア地域にて米中貿易摩擦の影響で数量落ち込み、その他地域は堅調
- ファインカーボン : 半導体市場減速、Tokai Carbon Korea子会社化による連結貢献

業績動向

- 売上高 : 前年同期比51.8%増
黒鉛電極・カーボンブラック・ファインカーボンの売価改善
M&A 案件の連結売上貢献
- 営業利益 : 前年同期比41.8%増
黒鉛電極の売価上昇、その他事業も総じて好調に推移
M&A 案件の連結利益貢献

2019年12月期業績予想の修正 (8月6日付)

TOKAI COBEX 事業を連結業績に反映させたことによる売上高、営業利益等の修正

- 売上高 1,391億円 (前年同期比52%増)
- 営業利益 404億円 (前年同期比42%増)
- ROS 29.1% (前年同期31.1%)

(百万円)

	2018年1-6月	2019年1-6月	増減額	増減率
売上高	91,688	139,176	+47,488	+51.8%
営業利益	28,513	40,441	+11,928	+41.8%
経常利益	29,290	40,562	+11,271	+38.5%
親会社株主に帰属する当期純利益	43,975	26,067	▲17,908	▲40.7%

連結対象会社 (2019年6月末現在)

- 連結子会社 30社
- 持分法適用会社 2社

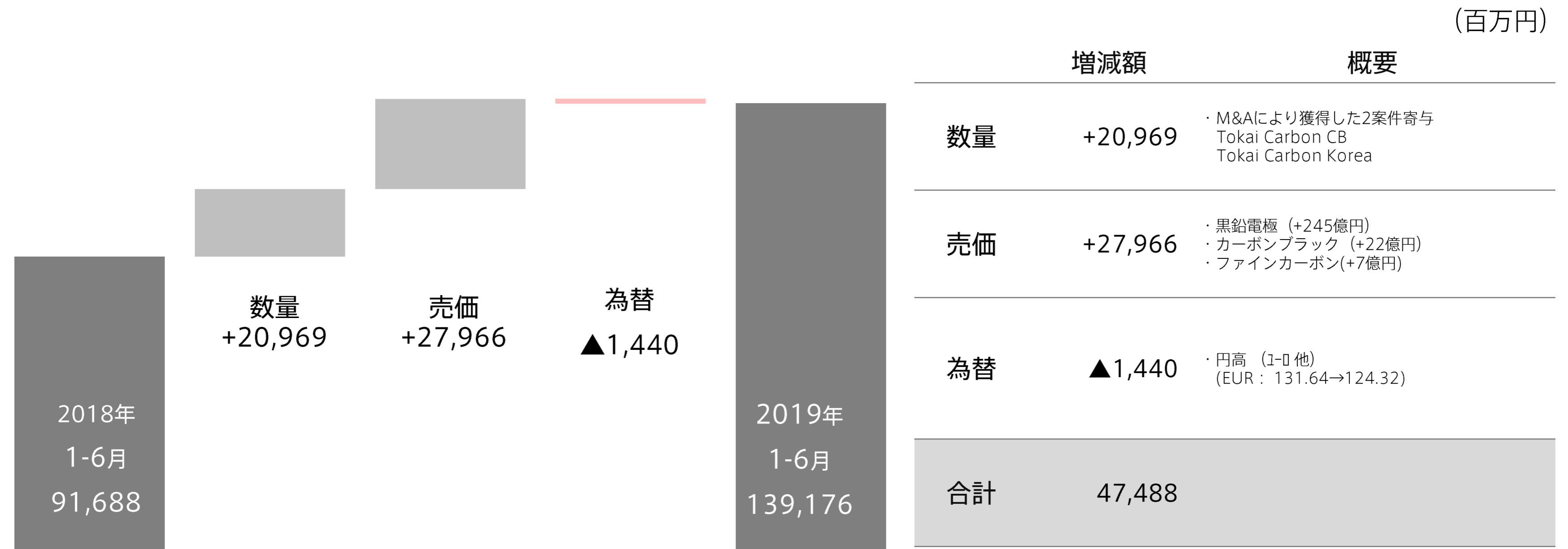
1-6月平均為替レート

- 2018年 USD1=¥108.68
- 2019年 USD1= ¥110.05

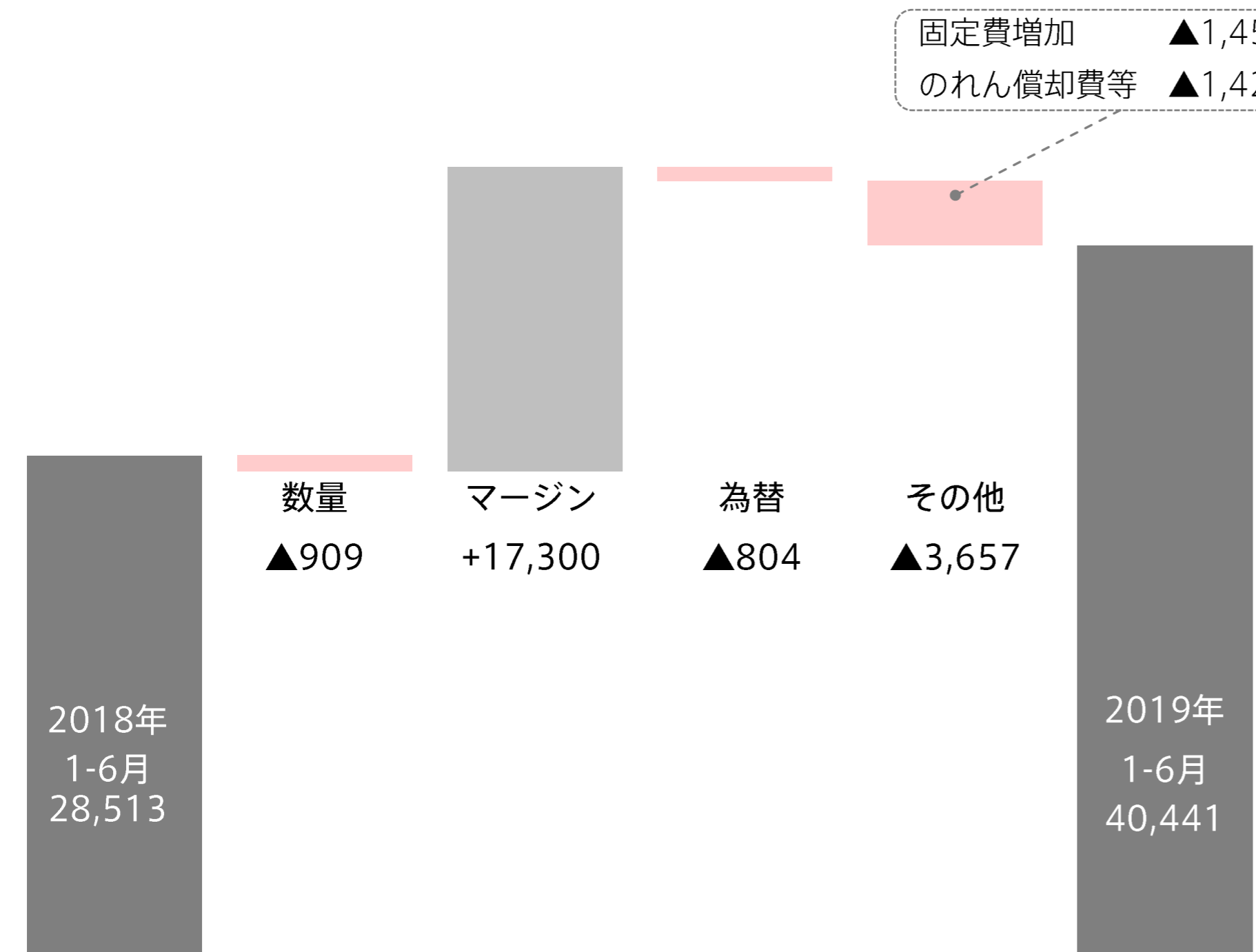
*TOKAI CARBON GE HOLDING LLC, Tokai Carbon Korea Co., Ltd., Tokai Carbon CB Ltd. の企業結合に係る暫定的な会計処理の確定により、2018年数値の遡及修正を実施しております

*2018年1-6月の親会社株主に帰属する当期純利益には、Tokai Carbon Korea Co., Ltdの段階取得による特別利益228億円が含まれております

- 黒鉛電極、カーボンブラック、ファインカーボンの売価改善
- Tokai Carbon Korea（韓国）とTokai Carbon CB（米）の寄与



■ 黒鉛電極、カーボンブラック、ファインカーボンの売価改善等により営業利益は前年同期比で41.8%増



(百万円)

	増減額	概要
数量	▲909	・ M&Aにより獲得した2案件寄与も黒鉛電極の数量減でマイナス
マージン	+17,300	・ 黒鉛電極 (+165億円) ・ ファインカーボン (+8億円)
為替	▲804	・ 円高 (1-0 他)
その他	▲3,657	・ のれん償却費、 労務費等の固定費増加
合計	11,928	

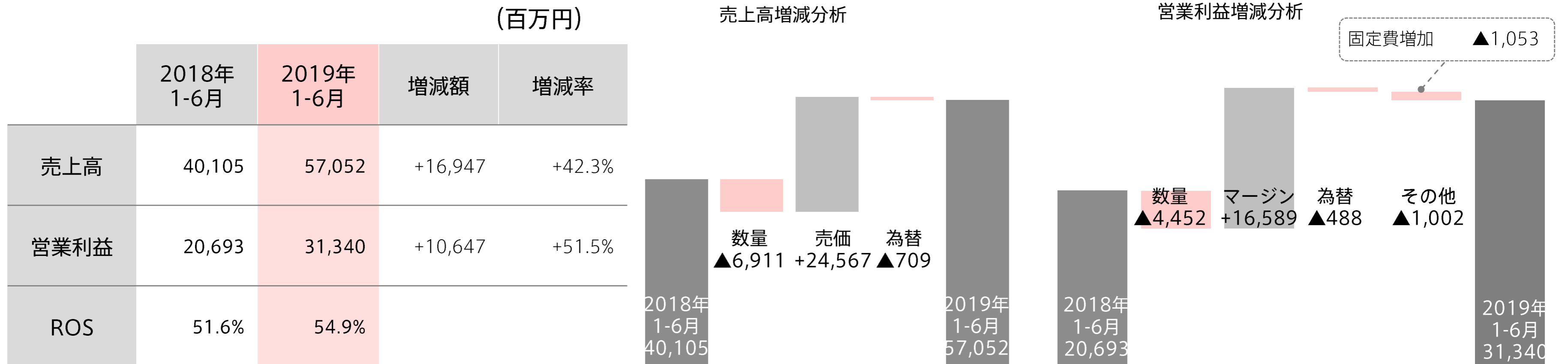
- 主要事業の増収増益
- 摩擦材事業は、四輪市販向けから撤退のため売上減少

(百万円)

		売上高			営業利益		
		2018年1-6月	2019年1-6月	増減額	2018年1-6月	2019年1-6月	増減額
黒鉛電極		40,105	57,052	+16,947	20,693	31,340	+10,647
カーボンブラック		29,193	54,595	+25,402	5,199	5,686	+487
ファインカーボン		9,327	15,960	+6,632	1,234	3,455	+2,220
工業炉関連		5,348	5,013	▲334	1,324	1,348	+24
その他	摩擦材	4,682	3,916	▲765	—	—	—
	負極材	2,952	2,564	▲387	—	—	—
	その他	78	72	▲5	—	—	—
		7,713	6,554	▲1,158	582	199	▲383
調整		—	—	—	▲521	▲1,590	▲1,068
合計		91,688	139,176	+47,488	28,513	40,441	+11,928

*TOKAI CARBON GE HOLDING LLC, Tokai Carbon Korea Co., Ltd., Tokai Carbon CB Ltdの企業結合に係る暫定的な会計処理の確定により、2018年数値の遡及修正を実施しております

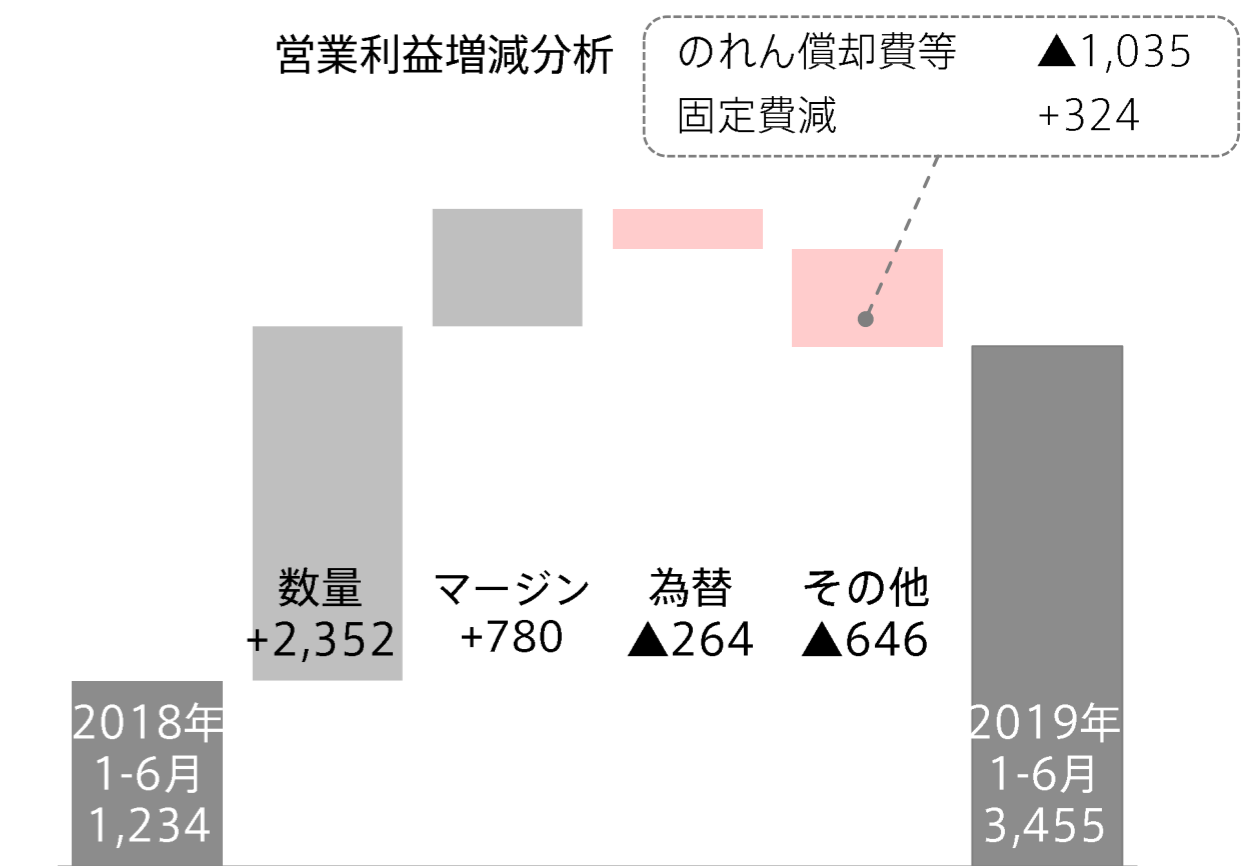
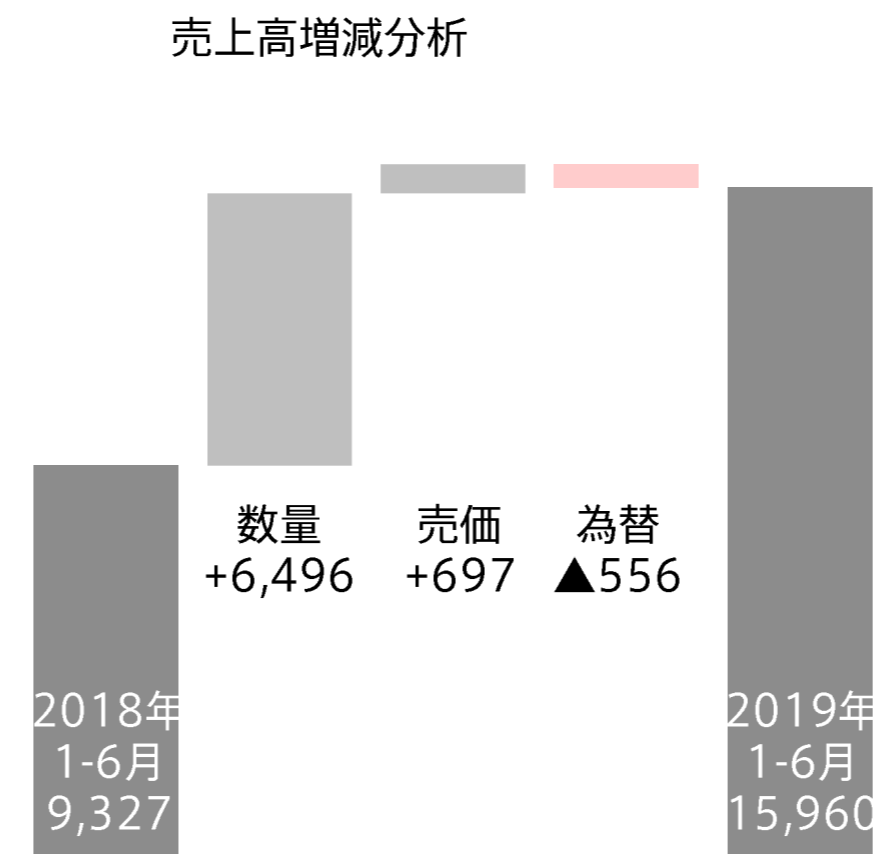
- 前年同期比で売上高、営業利益、ROSともに拡大
- 前年同期の黒鉛電極の供給不足は、顧客の在庫積み増しや欧州経済減速により緩和され、販売数量は前年同期比で減少
- 販売価格は、主要原材料の世界的なひっ迫等により、前年同期比で上昇し高位水準を継続



- 前年同期比で、売上高71.1%増、営業利益 179.8%増
- 対面業界である半導体市場減速、一般産業用途は堅調
- Tokai Carbon Korea 子会社化による連結貢献（2018年6月より）

(百万円)

	2018年 1-6月	2019年 1-6月	増減額	増減率
売上高	9,327	15,960	+6,632	+71.1%
営業利益	1,234	3,455	+2,220	+179.8%
ROS	13.2%	21.7%		

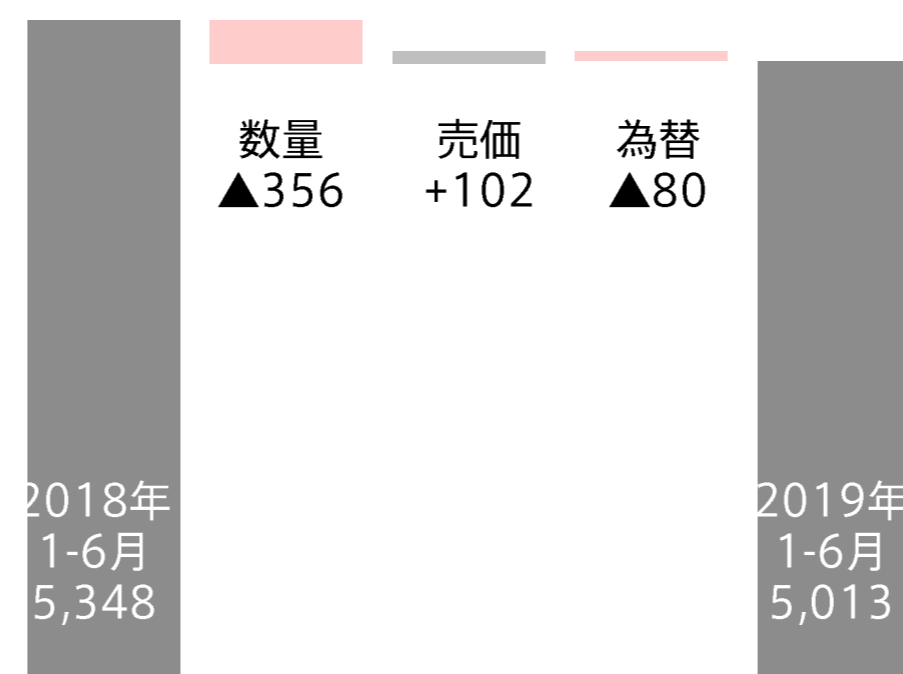


- 前年同期比で、売上高6.3%減、営業利益 1.8%増
- 工業炉は、出荷が当第3四半期以降に集中しており前年同期比で売上高減
- 発熱体その他製品は、対面業界であるMLCC用途向け、ガラス業界向けの需要が堅調に推移し、売上高前年同期比増

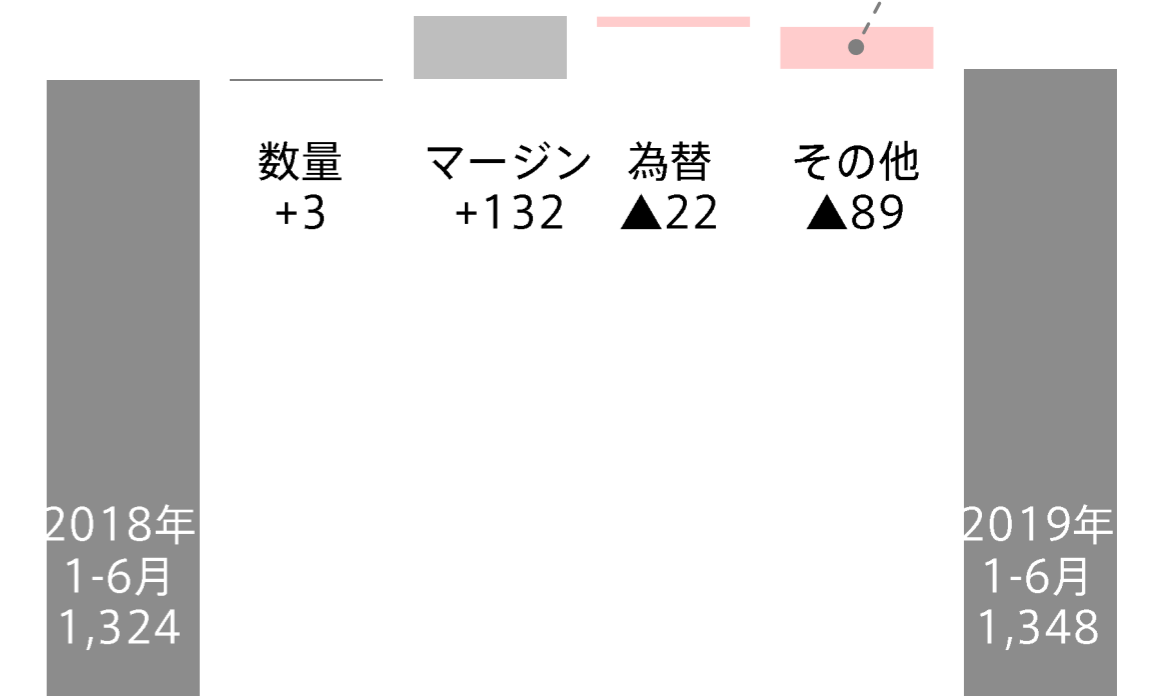
(百万円)

	2018年 1-6月	2019年 1-6月	増減額	増減率
売上高	5,348	5,013	▲334	▲6.3%
営業利益	1,324	1,348	+24	+1.8%
ROS	24.8%	26.9%		

売上高増減分析



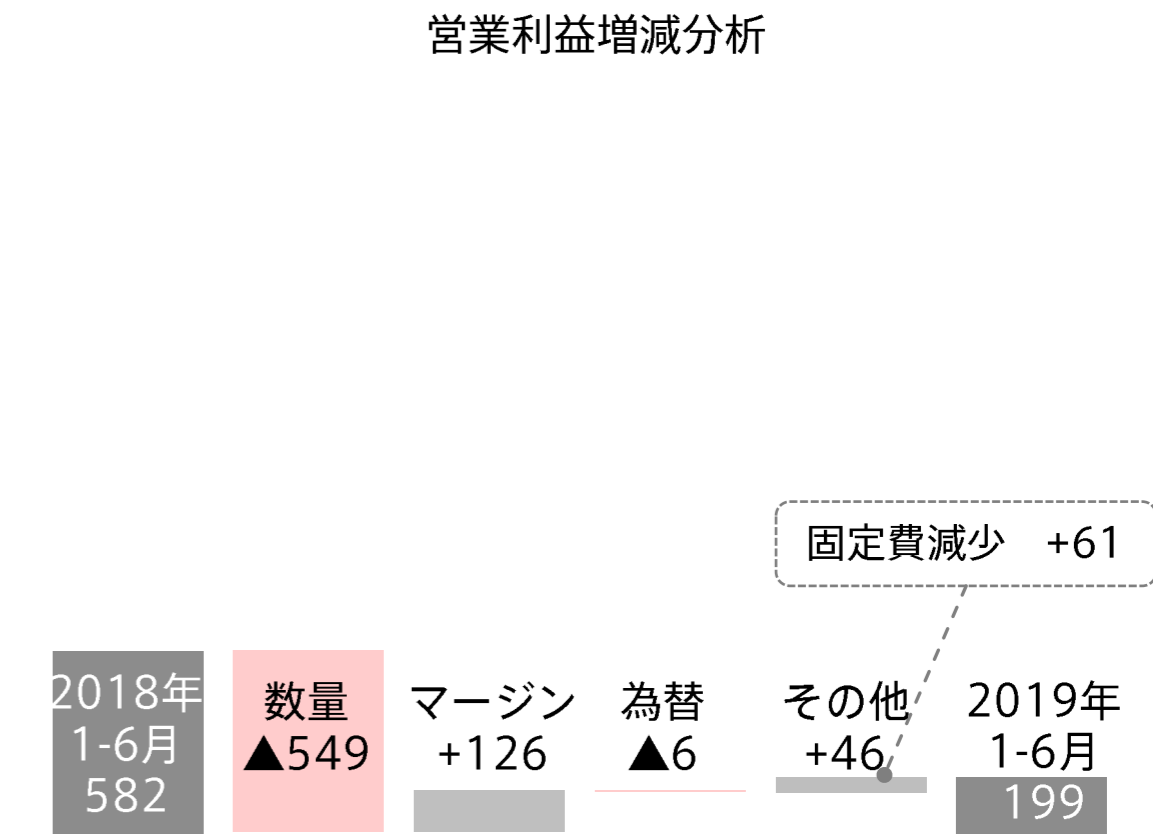
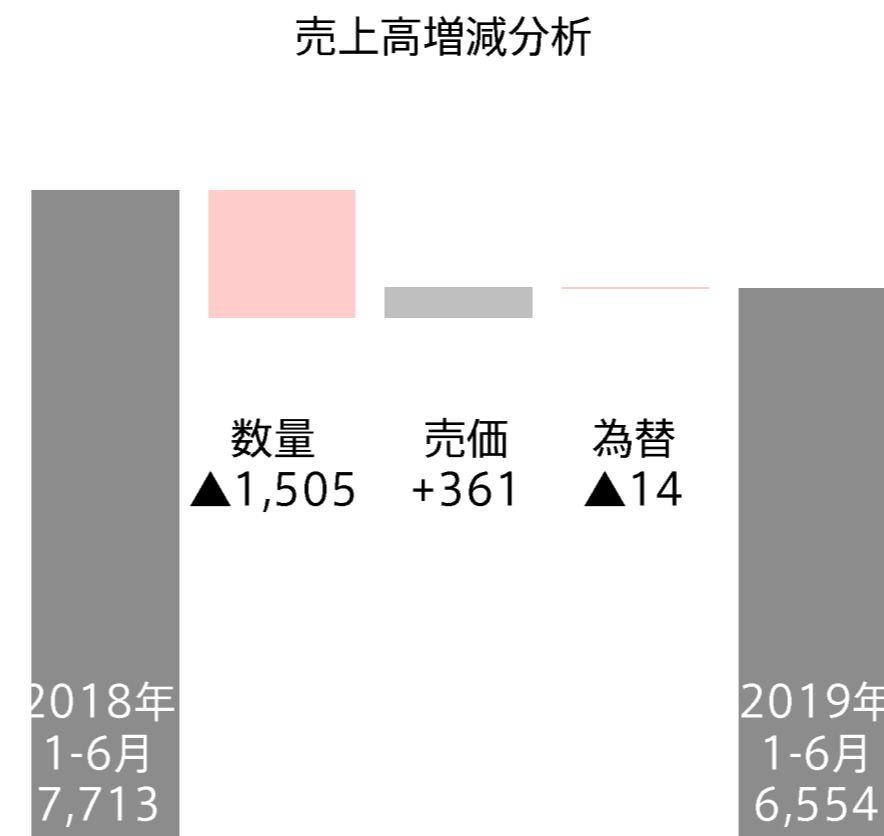
営業利益増減分析



- 摩擦材：事業再構築の一環として四輪市販向け市場撤退
売上高 前年同期比▲765百万円（▲16.3%減）
- 負極材：リチウムイオン二次電池市場は拡大しているが、当社数量は前年同期比で伸びず
売上高 前年同期比▲387百万円（▲13.1%減）

(百万円)

	2018年 1-6月	2019年 1-6月	増減額	増減率
売上高	7,713	6,554	▲1,158	▲15.0%
営業利益	582	199	▲383	▲65.8%
ROS	7.6%	3.0%		



主なキャッシュフロー項目

(百万円)

	2018年1-6月	2019年1-6月	概要
営業活動によるキャッシュフロー	18,607	15,027	
税金等調整前当期純利益	52,227	40,295	
減価償却費	3,866	6,743	
のれん償却額	532	1,315	
段階取得による利益	▲22,843	-	
売上債権増減	▲8,346	433	
棚卸資産増減	▲9,835	▲17,840	
仕入債務増減	4,002	▲2,244	
法人税等の支払額その他	▲996	▲13,675	
投資活動によるキャッシュフロー	▲8,090	▲9,661	
有形固定資産取得	▲2,320	▲9,466	
子会社取得による支出	▲5,669	-	
財務活動によるキャッシュフロー	493	▲8,420	
借入金増減	1,984	▲5,008	
配当金の支払	▲1,278	▲2,557	
現金及び現金同等物期末残高	32,373	37,172	

(百万円)

主な貸借対照表項目

	2018年12月末	2019年6月末	概要
資産合計	329,868	336,456	
流動資産	164,220	175,575	
現預金	46,797	42,498	
受取手形・売掛金	55,137	54,100	
棚卸資産	58,789	75,462	
固定資産	165,648	160,881	<ul style="list-style-type: none"> ・有形固定資産（前期末比+31億93百万円） ・無形固定資産（前期末比▲50億36百万円） 資本的支出：94億47百万円（前年同期比+60億73百万円） 減価償却費：67億43百万円（前年同期比+28億77百万円） のれん償却費：13億15百万円（前年同期比+7億82百万円）
有形固定資産	80,312	83,506	
無形固定資産	61,805	56,769	
投資その他の資産	23,529	20,606	
負債合計	122,035	110,786	
流動負債	91,654	69,908	<ul style="list-style-type: none"> ・有利子負債445億77百万円（前期末比▲51億33百万円）
固定負債	30,381	40,878	
純資産合計	207,833	225,670	
株主資本	179,500	203,009	<ul style="list-style-type: none"> ・自己資本比率61.1%(前期末56.7%)
その他包括利益累計額	7,640	2,716	
非支配株主持分	20,692	19,943	
負債純資産合計	329,868	336,456	

II

2019年12月期

業績予想

■売上高 3,044億円、営業利益 769億円、ROS 25.3%

(百万円)

	前回 (5月9日) 業績予想			2019年業績予想 (今回発表)			増減額	増減率
	上期	下期	通期	上期	下期	通期		
売上高	144,600	143,300	287,900	139,176	165,224	304,400	+16,500	+5.7%
営業利益	42,700	32,700	75,400	40,441	36,459	76,900	+1,500	+2.0%
経常利益	42,700	32,700	75,400	40,562	36,338	76,900	+1,500	+2.0%
親会社株主に帰属する 純利益	27,800	21,500	49,300	26,067	23,233	49,300	0	+0%
ROS	29.5%	22.8%	26.2%	29.1%	22.1%	25.3%	—	—
ROIC	—	—	—	—	—	—	—	—
ROE	—	—	23.7%	—	—	23.7%	—	—

連結対象会社

- 連結子会社 34社(COBEX グループ増加)
- 持分法適用会社 2社

期中平均為替レート

- 2018年 USD1=¥110.43
- 2019年 USD1=¥105.00 (3Q以降)

セグメント別売上高・営業利益予想

18

(百万円)

	前回 (5月9日) 業績予想			2019年業績予想 (今回発表)			増減額	増減率
	上期	下期	通期	上期	下期	通期		
売上高	144,600	143,300	287,900	139,176	165,224	304,400	+16,500	+5.7%
黒鉛電極	60,800	54,600	115,400	57,052	58,348	115,400	0	—
カーボンブラック	55,400	57,400	112,800	54,595	58,205	112,800	0	—
ファインカーボン	16,000	17,200	33,200	15,960	17,240	33,200	0	—
TOKAI COBEX (仮)	—	—	—	—	16,500	16,500	+16,500	—
工業炉関連	5,800	8,300	14,100	5,013	9,087	14,100	0	—
その他								
摩擦材	4,000	4,300	8,300	3,916	4,384	8,300	0	—
負極材	2,500	1,400	3,900	2,564	1,336	3,900	0	—
その他	100	100	200	72	128	200	0	—
その他計	6,600	5,800	12,400	6,554	5,846	12,400	0	—
営業利益	42,700	32,700	75,400	40,441	36,459	76,900	+1,500	+2.0%
黒鉛電極	31,900	21,300	53,200	31,340	21,860	53,200	0	—
カーボンブラック	6,600	6,700	13,300	5,686	7,614	13,300	0	—
ファインカーボン	3,300	3,700	7,000	3,455	3,545	7,000	0	—
TOKAI COBEX (仮)	—	—	—	▲972	2,472	1,500	+1,500	—
工業炉関連	1,500	2,100	3,600	1,348	2,252	3,600	0	—
その他	200	0	200	199	1	200	0	—
調整	▲800	▲1,100	▲1,900	▲618	▲1,282	▲1,900	0	—

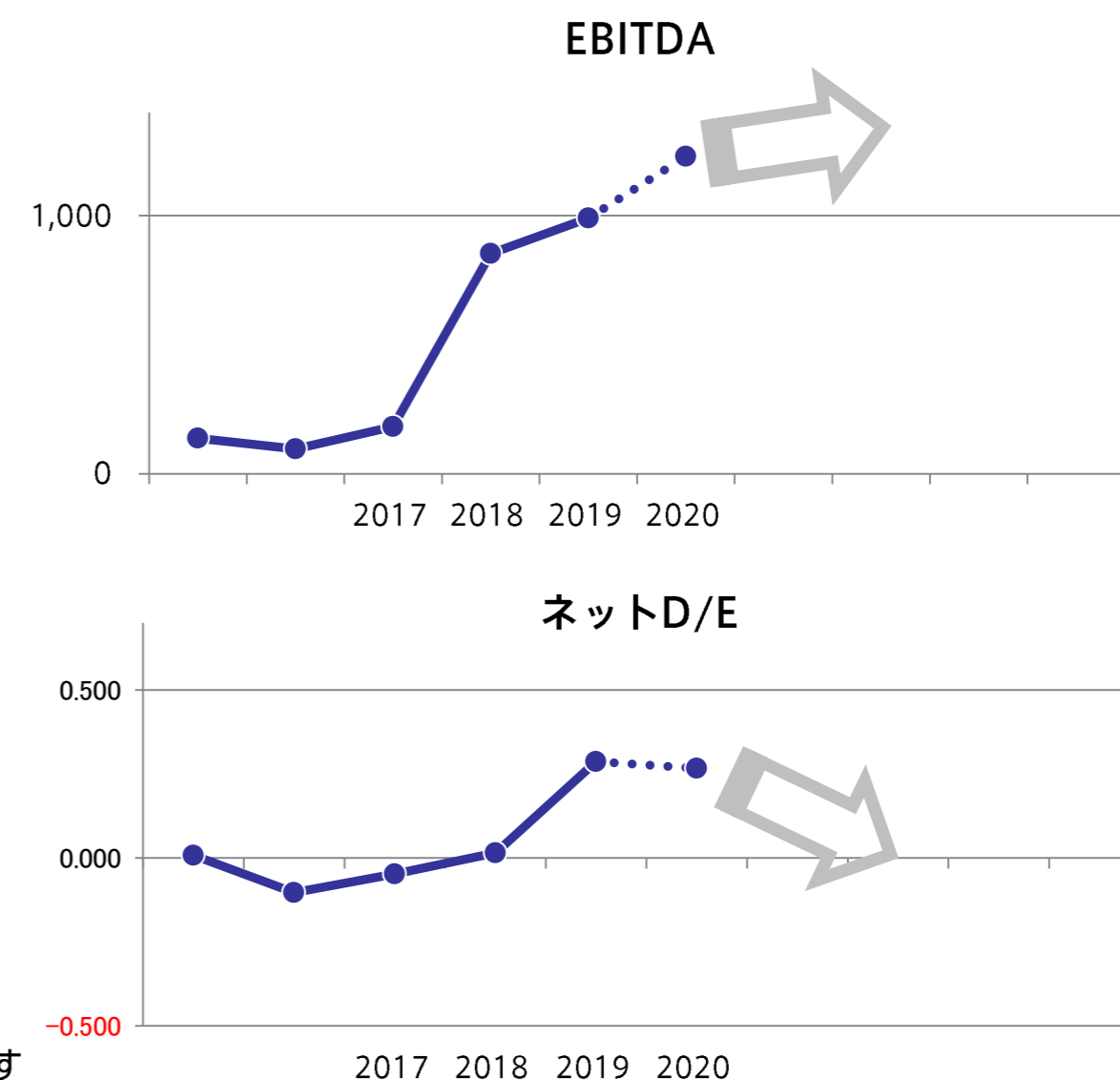
- EBITDA 1,000億円超の定着と更なる拡大
- 年度末迄に資本と負債の中間的な性質を持ったハイブリッドファイナンスによる資金を調達
- COBEX買収後3～5年内の調整後ネット D/E 0.0倍近傍の達成

(百万円)

	2017	2018	2019 (予想)
売上高	106,252	231,302	304,400
営業利益	11,093	73,066	76,900
ROS (%)	10.4	31.6	25.3
EBITDA	18,200	85,368	99,000
EBITDAマージン (%)	17.1	36.91	32.52
設備投資額	4,282	11,794	27,600
総資産	184,730	329,869	472,800
期末有利子負債残高	16,144	49,711	149,700
純資産	127,130	207,833	250,500
調整後ネット D/E (倍)	-0.047	0.016	0.300

調整後ネットD/Eとは、ハイブリッドファイナンスでの格付機関からの資本性認定を考慮したネットD/Eレシオです

持続的な利益成長と財務健全性の維持



III

戦略投資

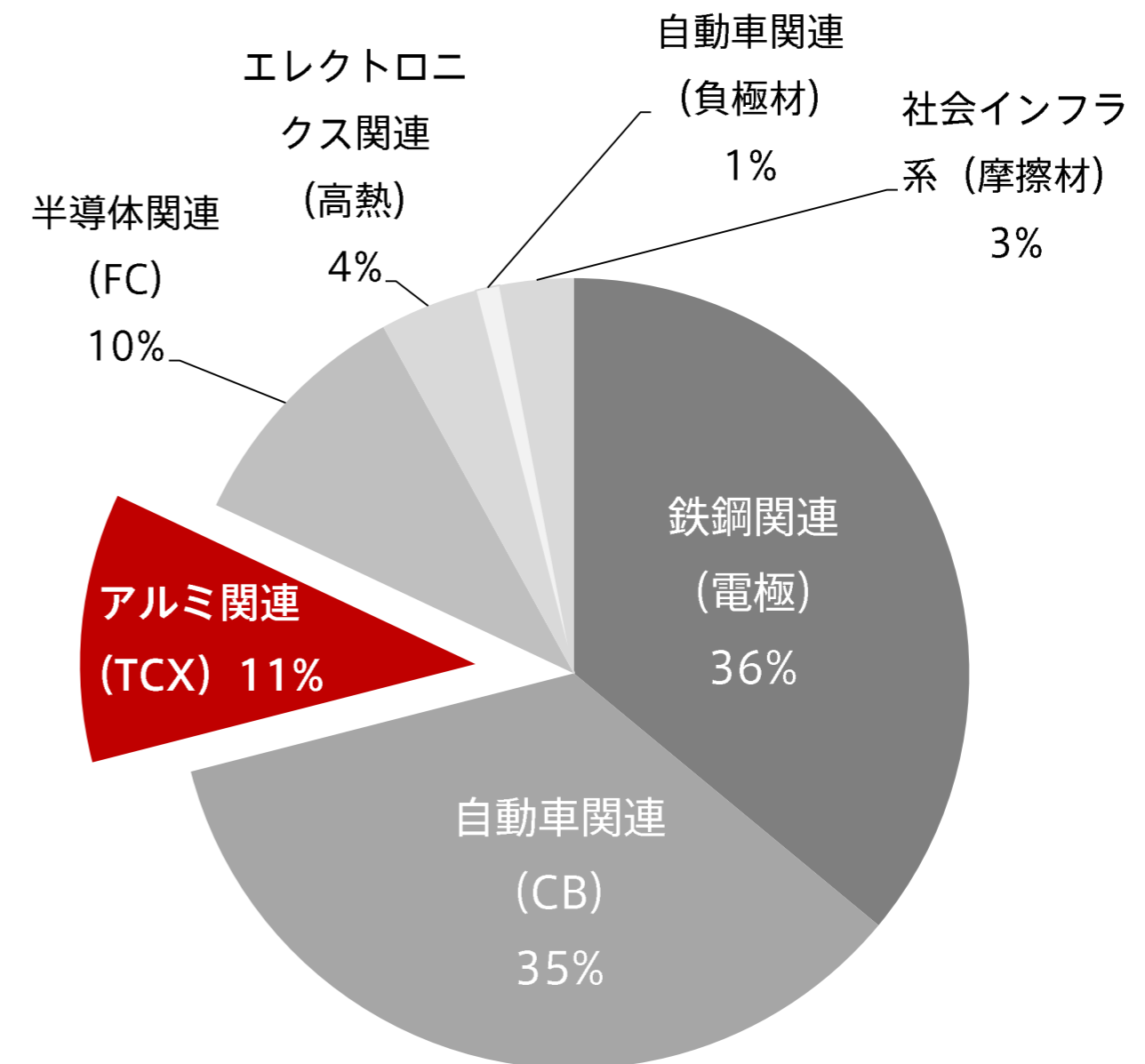
TOKAI COBEX GmbHについて

- T-2021中期経営計画の基本方針にある成長戦略の一環としてTOKAI COBEX GmbH (TCX) を買収

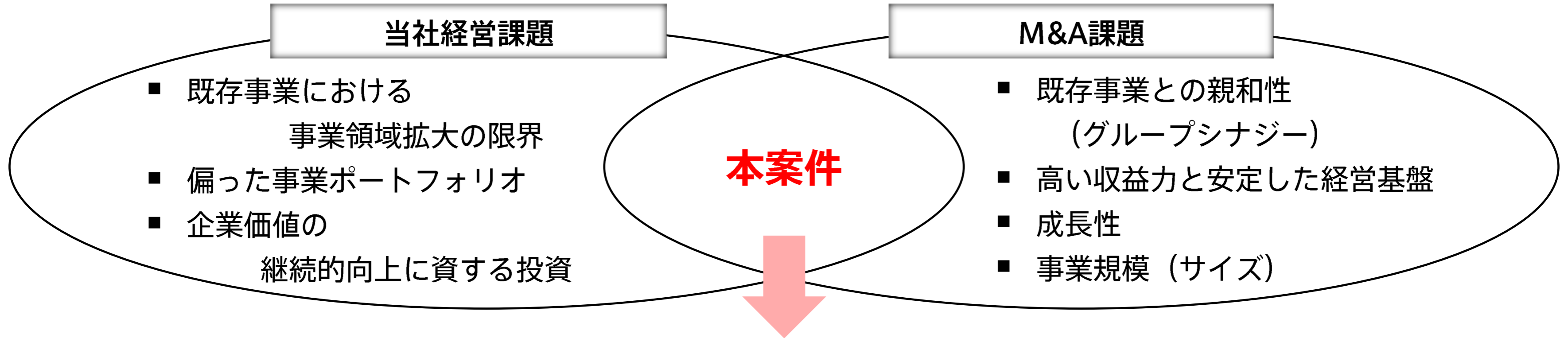
中期経営計画 T-2021 基本方針

- 収益基盤の強化
- 成長機会の拡大
- 連結ガバナンス体制構築

本件後の売上イメージ (通期換算後)



- 本案件は、当社の抱える経営課題に合致し、長期的な企業価値向上に資すると判断しました



売上高約360億円 世界有数の市場シェア	事業ポートフォリオ改善 電極、カーボンブラックに次ぐ柱に	安定事業基盤 高い参入障壁・ニッチ高収益事業 優良顧客基盤
コスト競争力 ポーランド工場のコスト競争力 自動化設備	高成長事業への展開 高成長アルミ関連事業への展開	アップサイドシナジー ドイツ黒鉛事業、 欧州ファインカーボン事業との連携

- 2019年7月26日付で、COBEX HoldCo GmbH及びそのグループ会社の全株式を取得し、社名をTOKAI COBEX HoldCo GmbHとしました

社名	TOKAI COBEX HoldCo GmbH (TCX社)			
設立年月	2016年9月			
事業概要	アルミ精錬用カソード・高炉用ブロック・炭素電極等の製造、販売、研究開発			
拠点	本社：ドイツ	Wiesbaden (ヴィースバーデン)		
	工場：ポーランド	Nowy Sacz (ノビスアッチ)	}	年産能力70千トン
	ポーランド	Raciborz (ラチボルツ)		
業績		売上高	EBITDA	EBIT
	2018年12月期	€235MM	€76MM	€70MM
	2019年12月期 (見込)	約€300MM	約€120MM	約€117MM
従業員	約900名 (契約社員 約210名含む)			
取得価額	企業価値ベース 約1000億円 (有利子負債額 約252億円含む)			

- SGL Carbonのアルミ精錬用カソード、高炉用ブロック等がトッププレイヤーへと発展。2016年に分社化され、2017年欧州ファンドTritonが買収。

1895年	ポーランドRaciborz市に電極工場設立 (ZEW S.A.)
1960年	ポーランドNowy Sacz市にカソード・炭素電極工場設立 (Polgraph S.A.)
1995年	ドイツSGL CarbonによるPolgraph買収
2000年	SGL CarbonによるZEW買収
2000年 ～2007年	SGL Carbonのヨーロッパ工場再編の過程で、カソード・高炉ブロック・炭素電極などの事業をポーランドに集約
2016年	SGL Carbonがカソード・高炉用ブロック事業をSGL CFL CE GmbHとして分社化
2017年	TritonがSGL CFL CE GmbHを買収。COBEX GmbHに社名変更 (2018年)
2019年7月	東海カーボンが全株式を取得し、社名をTOKAI COBEX HoldCo GmbHへ変更

- TOKAI COBEX社 (TCX社) は、主要3製品において世界有数の市場シェアを有し、生産能力、顧客基盤、品質技術力で業界をけん引しています

売上構成 (2018年)



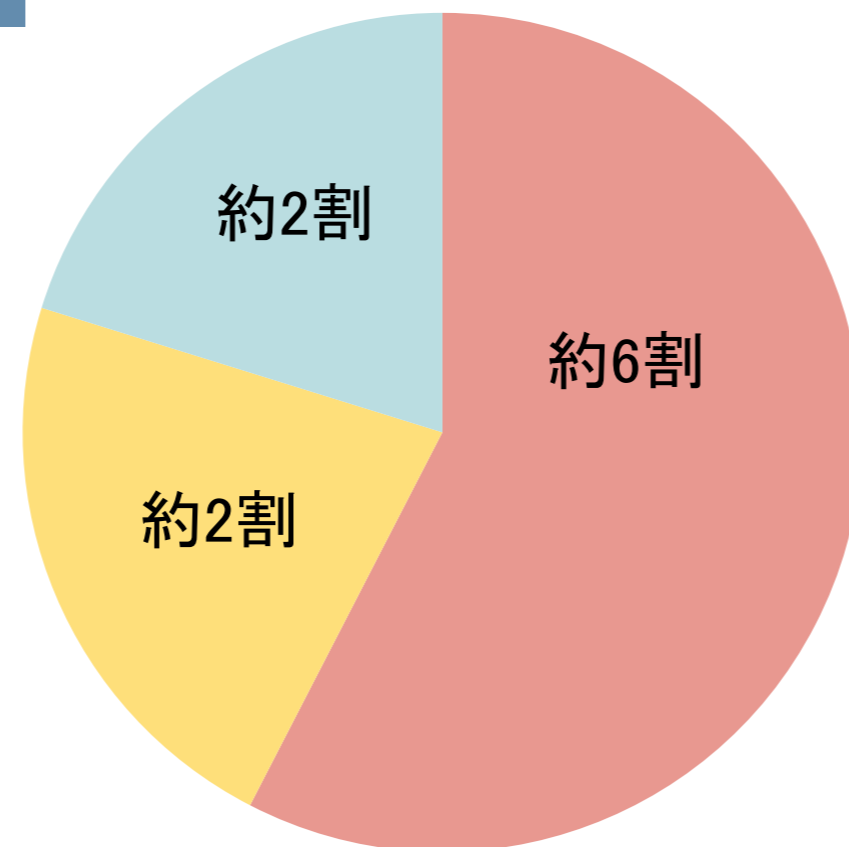
高炉用ブロック

高炉の内張り用の炭素質・黒鉛質のライニング材 (高炉ブロック)



炭素電極

金属シリコン、合金鉄、リン酸などの精錬に使用される炭素電極を製造

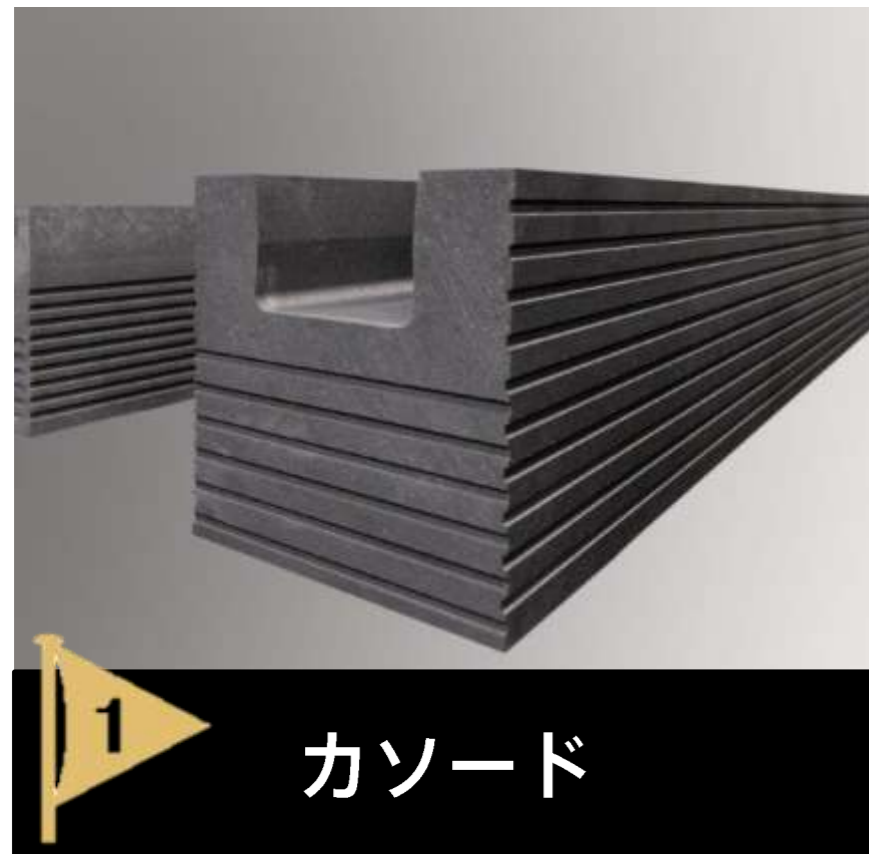


アルミ精錬用カソード

アルミ精錬用電解炉のライニングに使用される炭素質・黒鉛質のカソード (陰極)



- 前身であるSGL社は、各社が事業を撤退するなか、業務集約化によるコストダウン等で高い競争優位性を確立し、寡占的地位を築きました



シェア約 **40%**

業界トップシェア

黒鉛化カソード市場(中国除き)



シェア約 **40%**

業界トップシェア

中国を含む世界の大型高炉市場

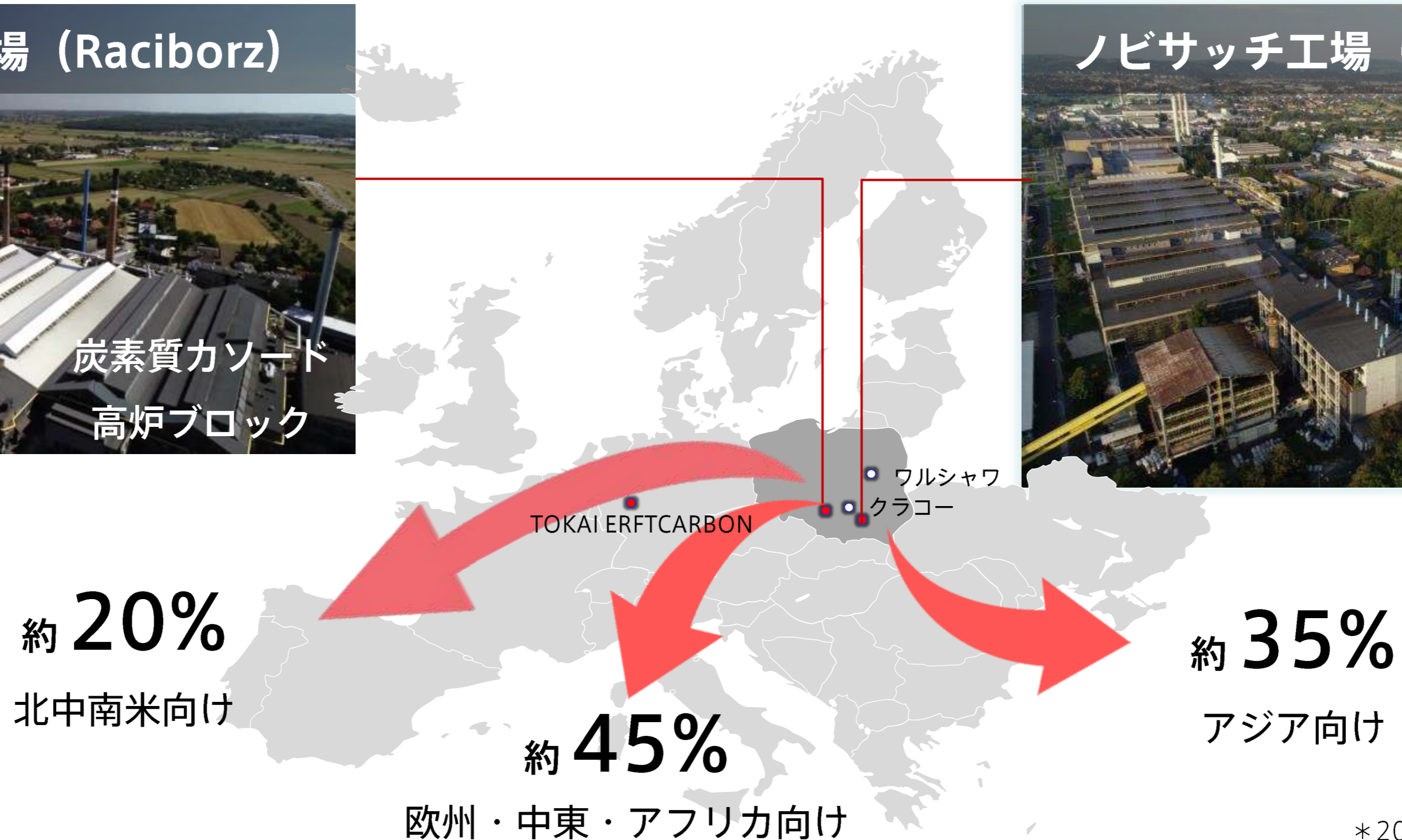


シェア約 **30%**

業界No.2

中国を除く炭素電極市場

- 労務費・エネルギーコストで優れるポーランド工場に全品種の製造集約。グローバル市場へ供給

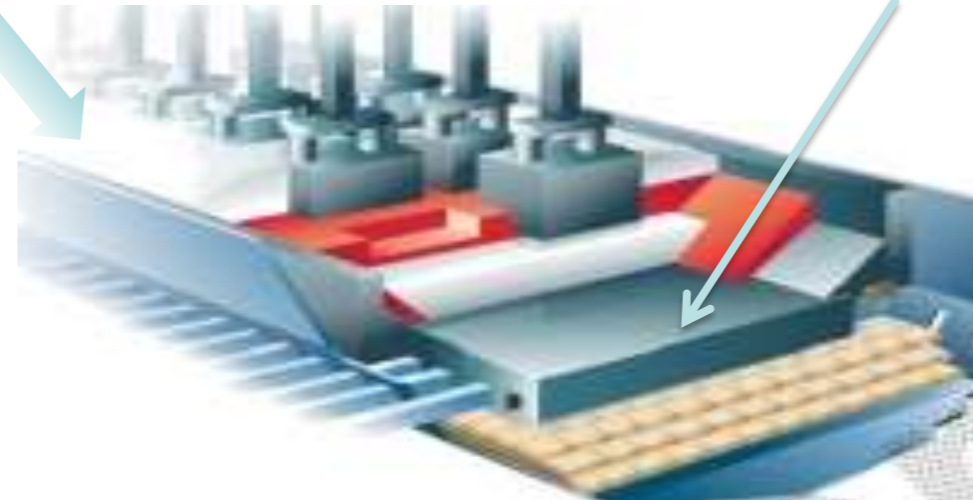


* 2018年度売上高ベース

- カソード、高炉ブロックは、その長いサイクル期間、初期設備投資額、製造技術、原材料確保の点で、新規参入が難しい業種となっています



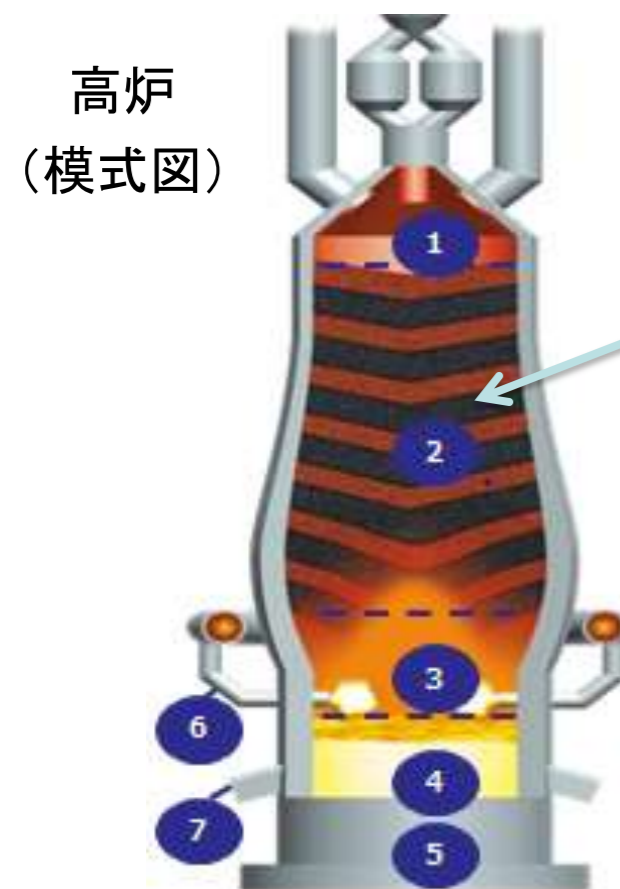
アルミ精錬炉(ポット)



カソード

4-6年サイクルで巻き替え

アルミニウム製錬炉で電気分解のための消耗品として炉底に設置され使用されます。



高炉
(模式図)

高炉用ブロック
(炉の内張り用耐火材)

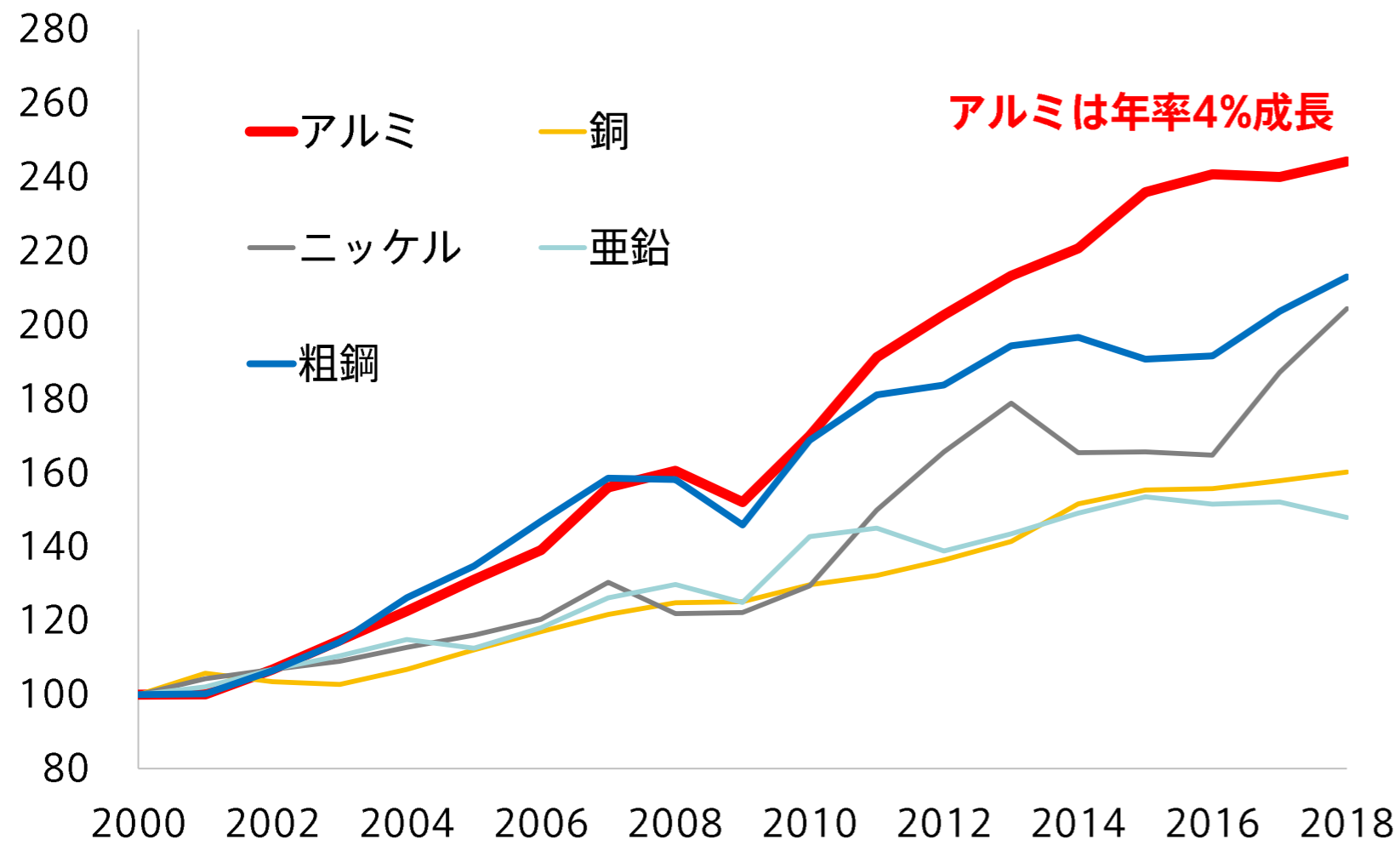
10-15年サイクルで巻き替え

高炉内の温度負荷が高い②~⑦部分への炭素質/黒鉛質ライニング材として使われます

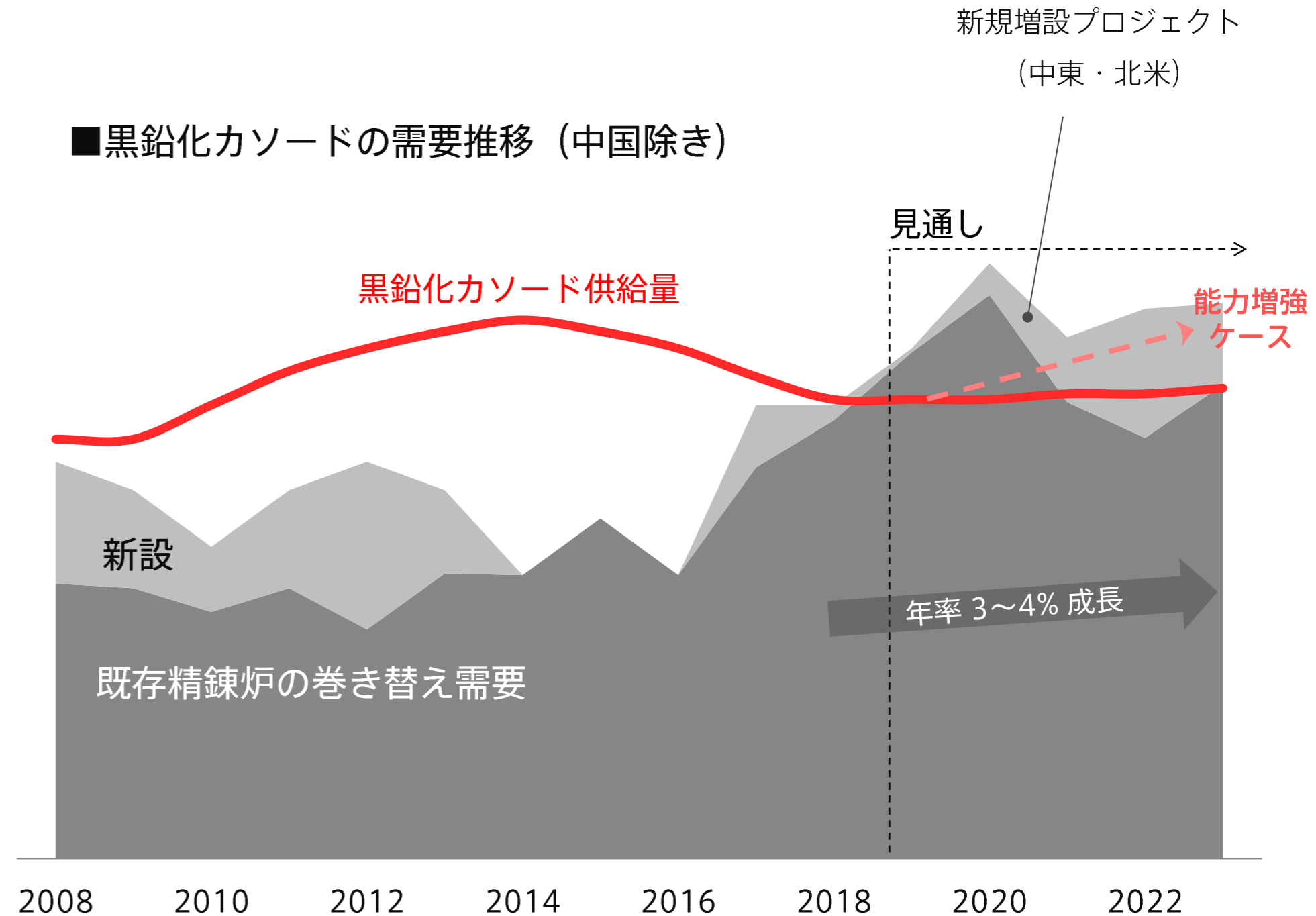
カソードは4-6年、高炉は10-15年周期の巻き替え需要のため、その長い品質評価期間も新規参入の障害になっています

- アルミ精錬生産量は、他の金属と比べて高い成長を実現しています
- 今後の新興国での経済成長による使用量増加、先進国での軽量化ニーズによる用途拡大が見込まれます
- カソード需要は、巻き替え需要と新設プロジェクトにより、今後も年率3~4%成長継続の見通し

■ 主要な金属地金製品の世界生産量推移 (2000年=100)



■ 黒鉛化カソードの需要推移 (中国除き)

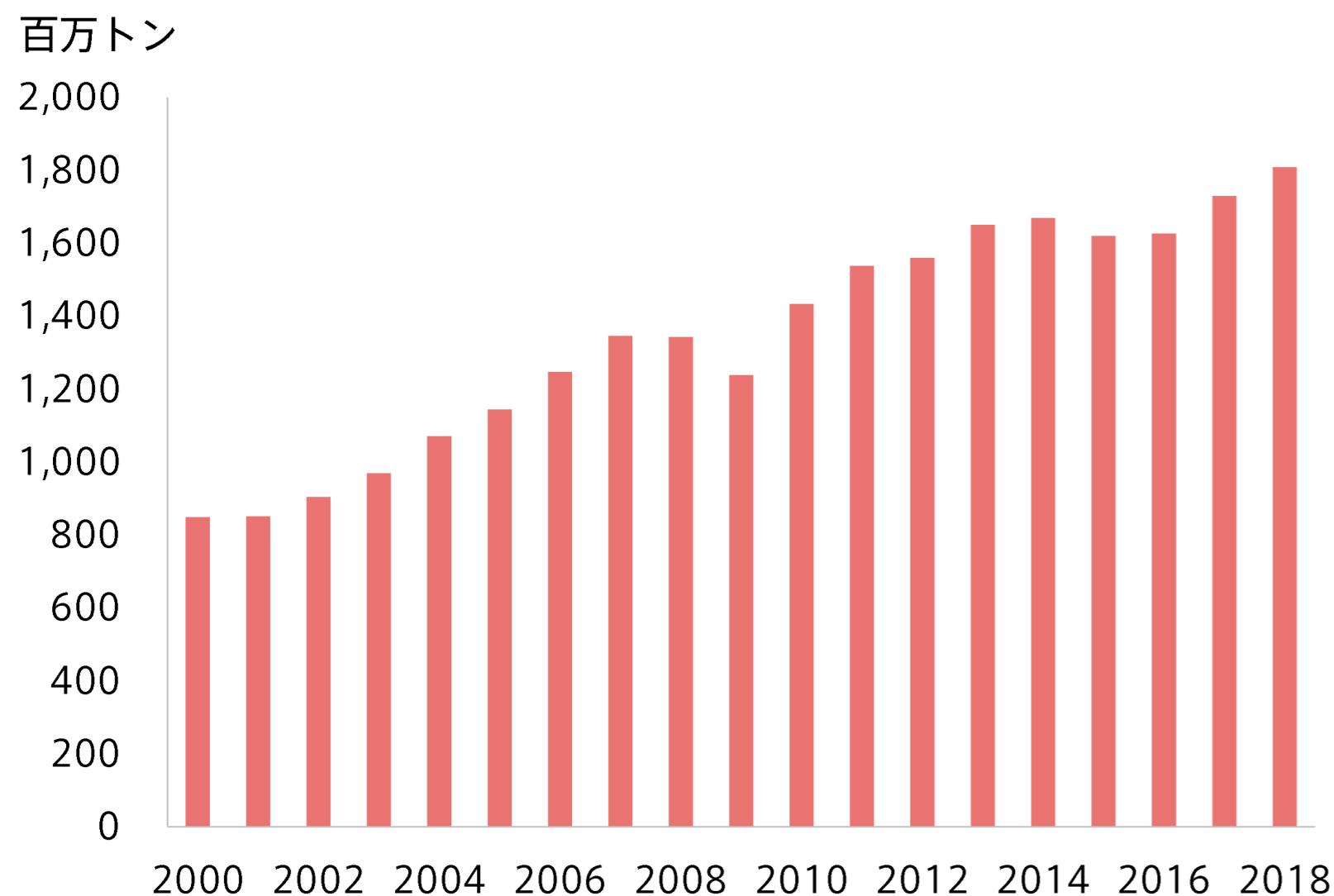


出所 : World Metal Statistics、World Steel Association

* 当社推定

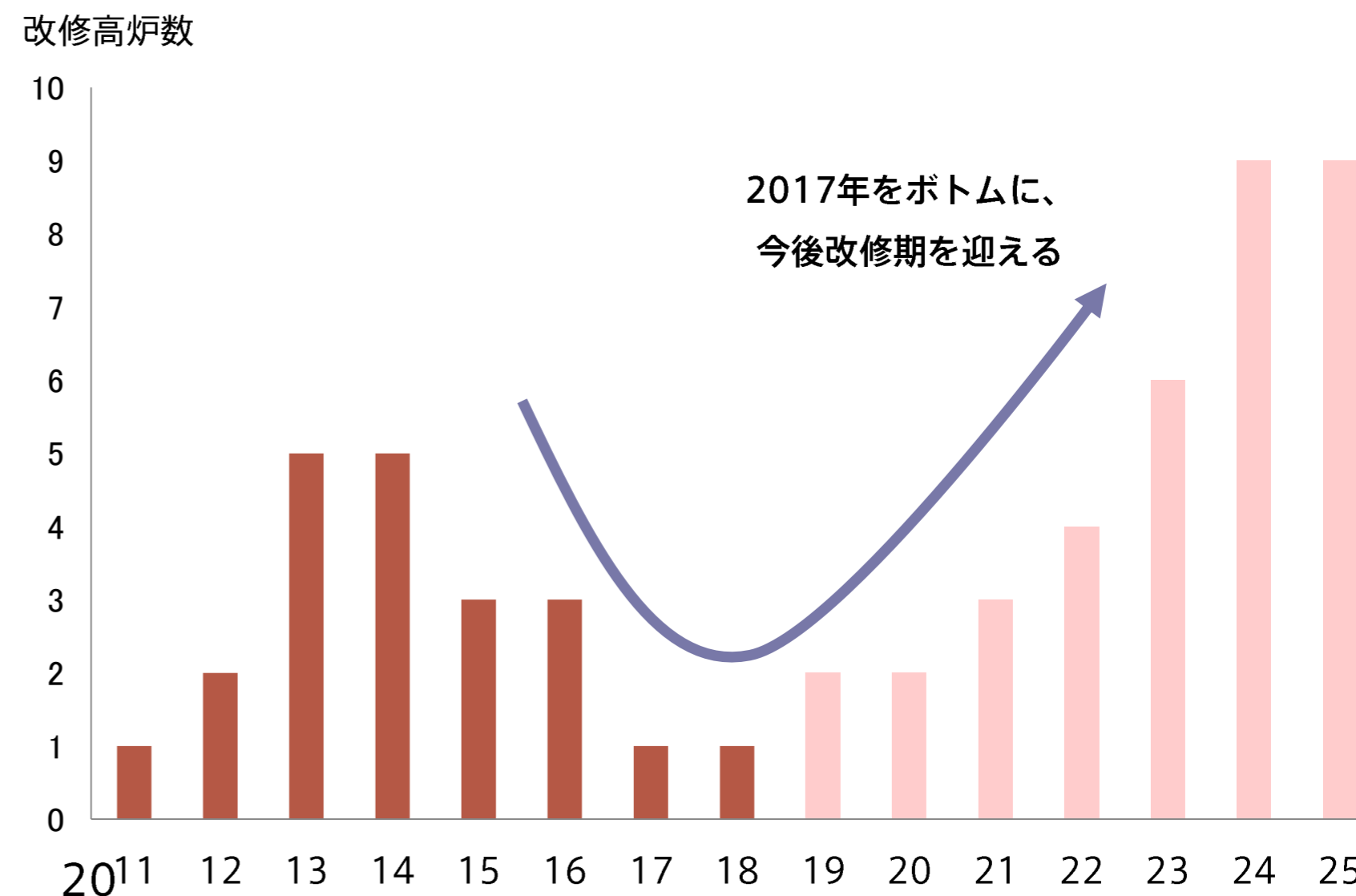
- 世界の高炉生産の74%を占める東アジアでは、2010年以前に稼働した大型の高炉が改修期を迎えると予想され、今後高炉ブロックの需要増加が見込まれています

世界の粗鋼生産量の推移



*World Steel Association

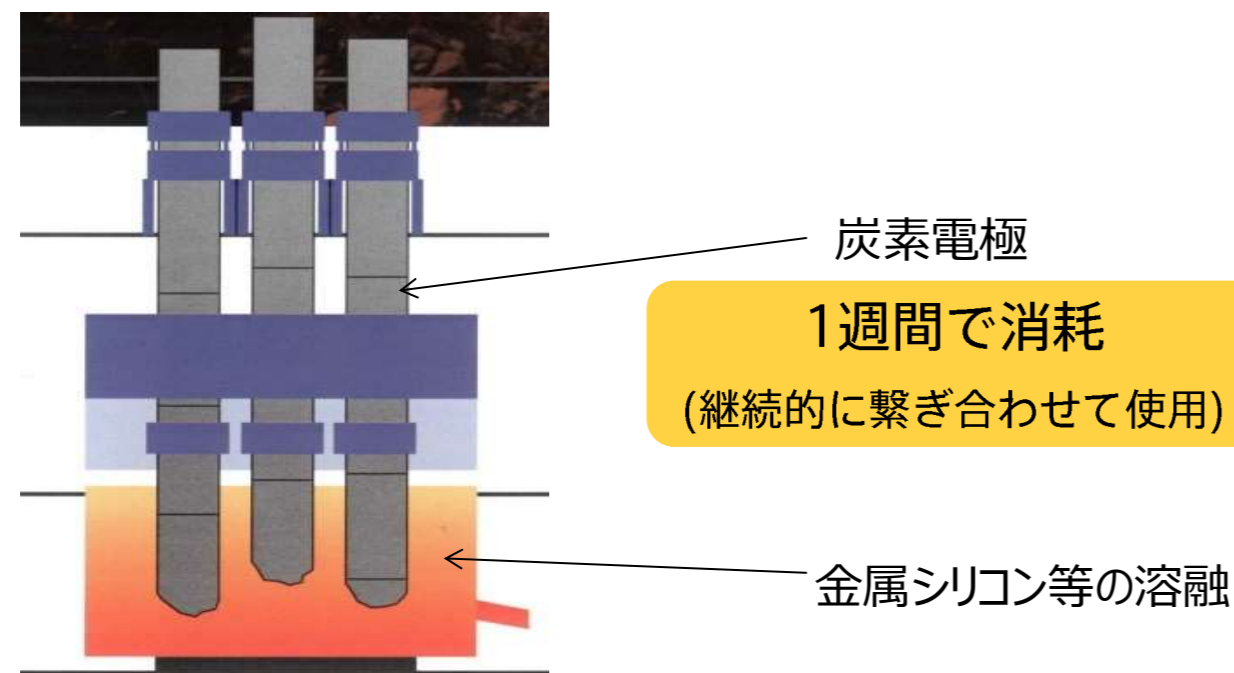
大型高炉の改修数（東アジア）の見込み



*当社推定

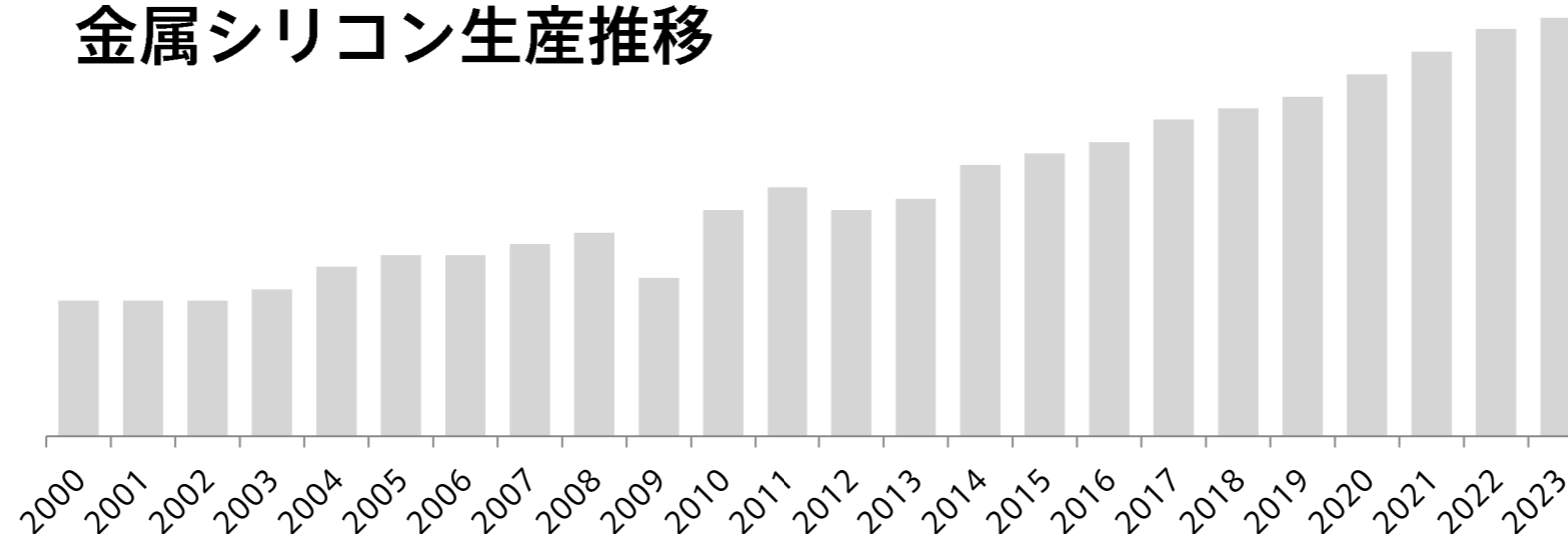
- 金属シリコン生産は、アルミニウム合金、ソーラー、電子、化学製品などの多彩な分野からの需要を背景に年率4-5%程度で成長する見込みです

炭素電極の用途



- 金属シリコンなどの精錬に導電体として使用される電極。約2000度までの高温を許容します
- 炭素電極に電流が流れアーク放電により消耗しながら金属シリコン等を溶融します
- 電流負荷が高まれば高まるほど直径の大きな電極が必要とされます
- 溶融金属の中に直接電極先端を埋没させることからsubmerged arc furnaceと呼ばれます。スクラップ溶解のための製鉄用黒鉛電極とは全く用途が異なり、特性も異なる製品です

金属シリコン生産推移



金属シリコン市場は約3百万トン
市場成長率は年率4-5%

- 本案件は、双方にとってメリットがあり、今後のスムーズなPMI(企業買収後の統合プロセス)により、連結業績向上へと結びつけてまいります

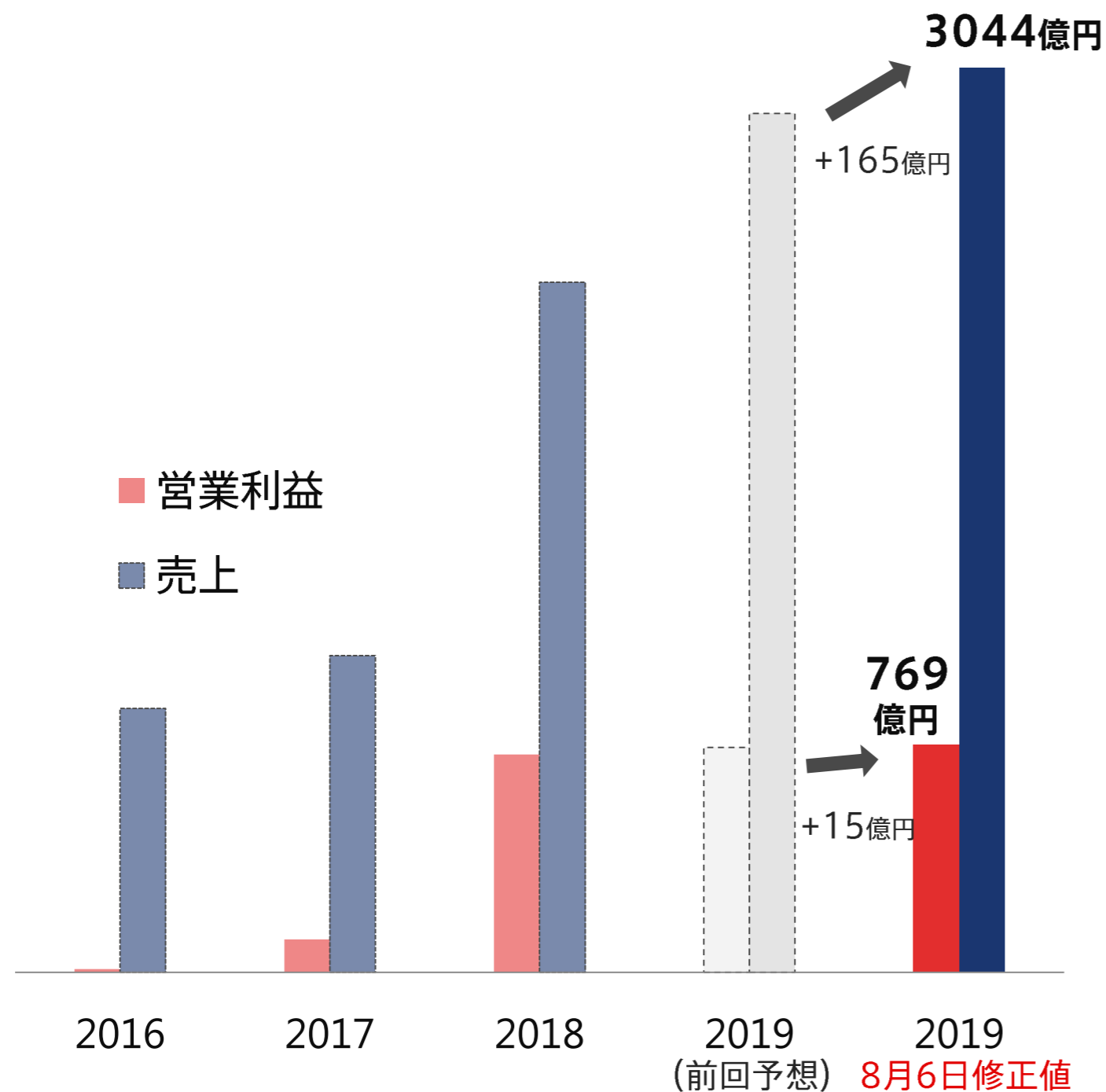
TOKAI COBEX単体にとってのメリット

- ✓ 投資ファンドからモノづくりの会社がオーナーとなり、事業をバックアップ
- ✓ 技術：炭素・黒鉛製造ノウハウのグループ内共有
- ✓ 生産：グループ内生産受委託等の可能性
- ✓ 原料調達：共同購買ほか
- ✓ 財務：高金利の負債によるP/L毀損を防ぐ

TOKAI CARBON GROUP メリット

- ✓ 事業ポートフォリオの健全化
 - 高収益・安定事業獲得
 - 黒鉛電極一本足打法からの脱却
- ✓ 東欧拠点の獲得
- ✓ 技術：自動化、環境設備、製造管理ノウハウの共有
- ✓ 生産：グループ内生産受委託の可能性

- TOKAI COBEX事業(TCX事業)は2019年8月より連結寄与します
- これに伴い2019年通期の売上・営業利益見通しを修正



TCX事業 2019年8~12月		5か月分
売上高	165億円	
営業利益	56億円	
取得費用	-14億円	一時費用
概算：のれん償却費*	-27億円	5か月分
概算：連結営業利益寄与	15億円	5か月分

*のれん償却費（概算）：
 のれん653億円を10年償却と仮定。正式なのれん額及びのれん償却費確定は、PPA（Purchase Price Allocation）後となります。

參考資料

(百万円)

子会社	2018年 1-6月	2019年 1-6月	増減額	所在地・事業	概要
TOKAI ERFTCARBON	16,043	18,244	+2,200	ドイツ 黒鉛電極	
TOKAI CARBON GE	14,610	22,519	+7,908	アメリカ 黒鉛電極	・ 2017年11月より連結寄与
THAI TOKAI CARBON PRODUCT	9,340	9,351	+10	タイ カーボンブラック	
東海炭素 (天津)	2,944	2,342	▲601	中国 カーボンブラック	
Tokai Carbon CB	—	24,265	+24,265	アメリカ カーボンブラック	・ 2018年9月より連結寄与
Cancarb	3,948	3,633	▲315	カナダ カーボンブラック	
Tokai Carbon Korea	1,482	8,486	+7,004	韓国 ファインカーボン	・ 2018年6月より連結寄与

(百万円)

	2015	2016	2017	2018	2019 (予想)
売上	104,864	88,580	106,252	231,302	304,400
営業利益	4,088	1,131	11,093	73,065	76,900
親会社株主に帰属する純利益	2,484	▲7,929	12,346	73,393	49,300
ROS (%)	3.9%	1.3%	10.4%	31.6%	25.3%
ROE (%)	2.0%	▲6.8%	10.4%	46.8%	23.7%
ROIC (%)	2.1%	0.7%	7.7%	29.6%	-
減価償却費	9,242	8,124	6,647	10,383	12,000
設備投資額	5,301	6,013	4,282	11,794	27,600
研究開発費	1,822	2,249	1,482	1,883	-
従業員数 (人)	2,092	1,980	2,142	2,944	-
為替レート (JPY/USD)	121.05	108.85	112.19	110.43	105.0

セグメント別業績推移 (四半期ベース)

37

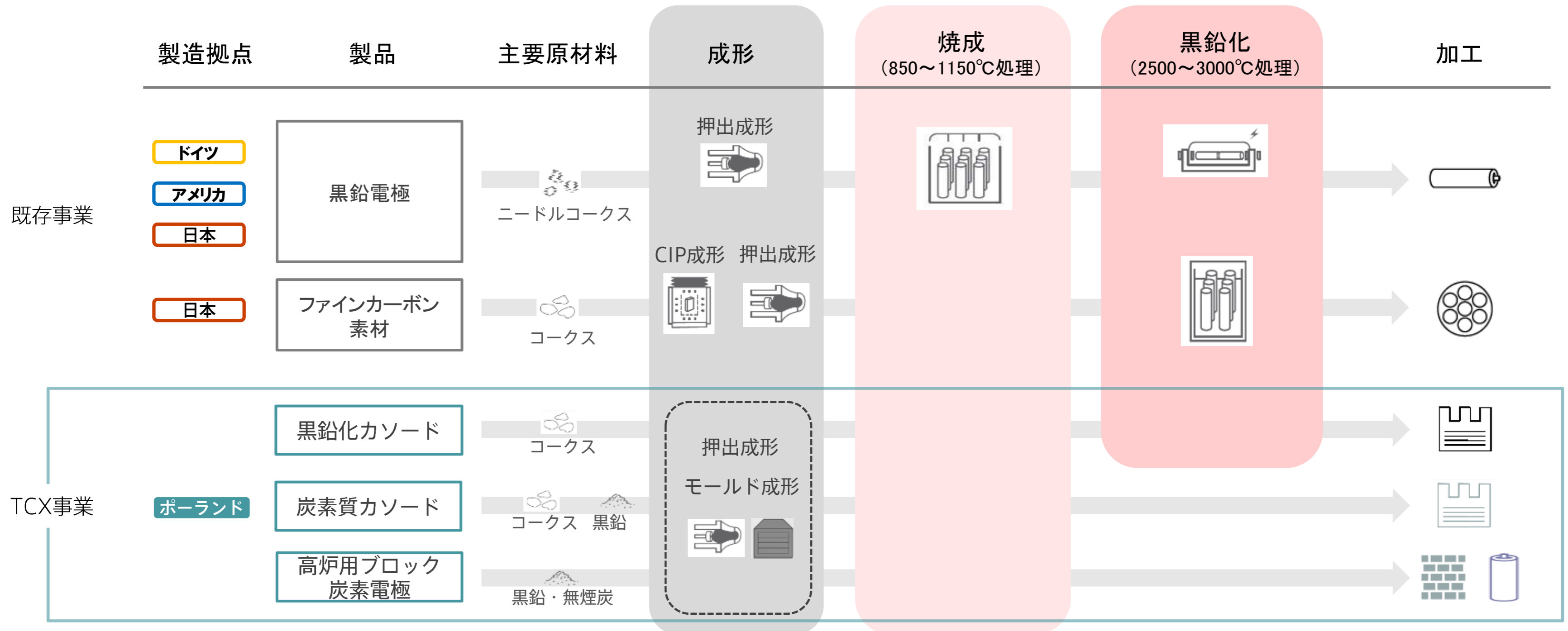
(f=見込み) (百万円)

	2018					2019 f			
	Q1	Q2	Q3	Q4	通期	Q1	Q2	下期 f	通期 f
売上高	41,595	50,092	63,697	75,917	231,302	68,838	70,338	165,224	304,400
黒鉛電極	16,984	23,121	29,134	32,835	102,075	27,540	29,511	58,348	115,400
カーボンブラック	14,276	14,916	19,794	27,938	76,926	27,308	27,286	58,205	112,800
ファインカーボン	3,893	5,434	8,191	7,884	25,403	8,296	7,664	17,240	33,200
TOKAI COBEX (仮)	—	—	—	—	—	—	—	16,500	16,500
工業炉関連	2,663	2,685	2,642	3,380	11,371	2,212	2,801	9,087	14,100
その他									
摩擦材	2,296	2,385	2,336	2,462	9,480	2,030	1,886	4,384	8,300
負極材	1,439	1,512	1,563	1,379	5,894	1,413	1,151	1,336	3,900
その他	42	36	36	36	150	36	36	128	200
その他計	3,778	3,934	3,935	3,877	15,525	3,480	3,073	5,846	12,400
営業利益	12,610	15,902	21,647	22,905	73,065	21,226	19,215	36,459	76,900
黒鉛電極	8,381	12,311	17,369	17,978	56,040	15,423	15,917	21,860	53,200
カーボンブラック	2,816	2,382	2,461	2,771	10,431	3,424	2,262	7,614	13,300
ファインカーボン	708	526	1,058	1,421	3,715	1,905	1,549	3,545	7,000
TOKAI COBEX (仮)	—	—	—	—	—	—	▲972	2,472	1,500
工業炉関連	633	691	723	995	3,043	586	762	2,252	3,600
その他	320	261	312	174	1,068	166	33	0	200
調整	▲250	▲271	▲277	▲435	▲1,233	▲279	▲339	▲1,282	▲1,900

- カソード、高炉ブロック、炭素電極は、お客様の製品の品質や製造コストを左右する重要素材
- 継続的なパフォーマンス、供給能力やデリバリーの信頼性、過去実績などが重要視されます

	お客様	当社との関係	当社製品の重要性	顧客製造コストへの 当社品インパクト
アルミ精錬用カソード	世界のアルミメーカー 50社以上の固定客	20年以上	エネルギー原単位を左右する (顧客製造コストの約1/3がエネルギー)	1%以下 (アルミ精錬コスト)
高炉用ブロック	鉄鋼メーカー (高炉) 顧客の上位10社で売上の過半を占める	15年以上	10-15年の継続使用に耐える 品質安定性が鍵	0.03%以下 (鉄の変動費)
炭素電極	金属シリコンメーカーなど 合金鉄、リン酸精錬等のニッチ市場含む	10年以上	エネルギー原単位を左右する (顧客製造コストの約4割がエネルギー)	12-20% (金属シリコンコスト)

- TCX事業は、製造工程の一部が当社既存事業と同一であり、グループ生産能力の拡大及び技術力向上に寄与します



- 本資料に掲載されている将来見通しの記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因の仮定を前提としています。
- 実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績に影響を与える要素には、経済情勢、原材料価格、製品の需給動向及び市況、為替レートなどが含まれますが、これらに限定されるものではありません。
- 本資料中の定量目標、参考値、投資額等は、あくまで中期的戦略、ビジョン等を示すものであり業績予想ではありません。当社はこれらについて情報を更新する義務を負いません。
- 正式な業績予想は東京証券取引所規則に基づく決算短信での開示をご参照ください。

IRに関する連絡先
総務部 TC-IR@tokaicarbon.co.jp



Building a Future of Technology and Trust
TOKAI CARBON CO., LTD.